

# ふれあい情報

## 2024年9月25日(水) 第388号

■発行 日本退職者連合

■発行人 野田那智子

■連絡先 〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台3-2-11

<TEL> 03-5295-0507

<FAX> 03-5295-0541

<e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

# 「2024 全国高齢者集会」を開催

### <スローガン>

## “生き生きと安心して暮らせる社会をつくろう”



日本退職者連合三役(左側)、来賓の皆さん(右側)

於:文京シビックホール(大ホール)

全国から1400人の会員が参加し、盛大に開催!!

9月5日(木)、文京シビックホールで全国高齢者集会を開催しました。今年  
は、核兵器廃絶に向けた活動を続けている「神奈川県高校生平和大使」の皆さん  
に、その取り組みと活動内容について報告していただきました。  
会場内は、時代(とき)と世代を超えて、核兵器廃絶と平和を希求する思いが  
ひとつとなり、安心して暮らせる社会の実現に向け、決意を新たにすることがで  
きました。

集会は、退職者連合の会員  
が加入している「宇都宮サフ  
ロの会」の皆さんによるス  
コップ三味線のオープニング  
で始まりました。

主催者代表挨拶

人見実行委員長

2024 全国高齢者集会に全国  
各地から参加された仲間の皆  
さん、また日頃より全国各地  
で日本退職者連合の活動に取  
り組んでいる皆さんに心より  
敬意を表します。さらに連合  
本部をはじめ、来賓の皆様  
に心より御礼を申し上げます。

1月1日、



人見実行委員長

能登半島で  
大きな地震  
が発生しま  
した。亡く



「宇都宮サフロの会」の皆さん

なられた方々のご冥福を祈る  
と共に被災された皆様にお見  
舞い申し上げます。速やかに  
復旧、復興が進み、元の生活  
に戻れるよう祈念いたします。  
戦争を終わらせ

平和の回復に向けて

ロシアによるウクライナへの  
軍事侵攻により多くの命が奪  
われ、国内外への避難民は1,000  
万人以上となっている。ガザ地  
区では多くの子どもや女性な  
ど4万人余りが犠牲となつて  
いる。一日も早い停戦と核兵  
器の削減は喫緊の課題である。  
国民を守るための

政治を求める

円安、エネルギー不足、物価  
高により私たちの生活が厳し

さを増している中、軍拡ではなく平和外交の努力が必要である。平和と民主主義を守るために声を上げていかなければならない。

社会保障制度の

機能強化と改革

超少子化、超高齢化で、毎年60万人以上の人口が減少していく日本において、きめ細かな行政の対応や高齢者サポート事業の規制・支援を進め、次の世代に継承すべき社会をつくることが重要である。

そのために、日本退職者連合は、会員の皆さまとともに連合と現退一致で取り組んでいく。

\*その後、来賓挨拶、基調報告、講演(高橋純子さん)、高校生平和大使のとりくみ、集会アピールを採択して、人見会長の団結ガンバローで閉会しました。

来賓あいさつ

松浦昭彦連合会長代行

人見会長をはじめ退職者連合の皆様には日頃より連合運動へのご理解、ご協力をいただき心より御礼を申し上げます。

2024 春季生活闘争で5%以上の賃金引上げを達成することができた。さらに中央労使会議をはじめ、すべての都道府県において、地方版政労使会議が開催されたことは大きな前進である。労働基準法の制定から80年を迎え労働側としての議論を展開していく。ジェンダー平等で、持続可能な社会を作り出すために女性や若者の多様な視点をとり入れていく。当面する国政選挙に対して、働く者の立場に立つ政治勢力の最大化を目指して、退職者連合の皆さんと連携していきたい。

立憲民主党

西村智奈美代表代行

私たちが国会の中で日々努力しているが、まだまだ力不足であり、野党ひとりひとりの力を持ち寄ることが重要である。退職者連合の皆様からの様々な政策制度要求についても、今後対応していきたい。

解散総選挙および来年の参議院選挙では連合の推薦候補が全員当選できるように取り組んでいく。

国民民主党 川合孝典幹事長代行

国民民主党は、結党以来、給料を上げるということを最優先のテーマに取り上げてきた。

今春闘でも賃上げはされたが自律的なものではなく、世界情勢やコロナ禍による国際物流の混乱等によるものだったといえる。今後は、賃金、年金を継続して引き上げていくことで、生活を守り、明るい未来を次世代につなげていきたい。

社会民主党

福島みずほ 党首

安保三文書や今年の防衛白書を読むと戦争のできる国から戦争する国(大きく踏み込んで)防衛予算だけ聖域化して進んでいることを止めたい。

自民党政治では憲法改悪が進み、脱原発は実現せず、社会保障や教育予算は伸びない。ケアを中心にした福祉社会を社民党は作りたい。



連合本部および政党来賓の皆さん

「どうなるようになる。これからのメディア」

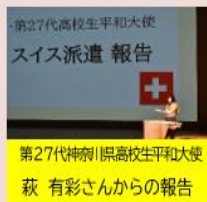
講師 高橋純子さん



講演では、自民党政権が継続し続けている背景などについて話をさせていただきました。選挙制度が中選挙区制度から小選挙区比例代表並立制度に改定されたことにより、自民党一強政治を築いていることを認識しておく必要がある。そして、マスメディアを介さずに直接SNS等での発信によって、世論に影響を与えることができるようになり、マスメディアの分断と弱体化が続いている。マスメディアや野党は、もっと自分の言葉で、発信をしてくるべきではない。その先に政権交代の可能性があると思っっている。マスメディアは、私たちが幸せだと思える社会を築くための言葉を発信していきたい。

＜高校生平和大使のとりくみ＞

神奈川県高校生平和大使の第26代宮下桜さん、第27代萩有彩さんから、高校生平和大使の活動の目的と成果や課題についての報告、また「1万人署名活動」の取り組みについて浜岡希実さんから報告をしていただきました。三人の核兵器廃絶と平和を願う熱い思いと情熱が会場全体を包み込みました。



第27代神奈川県高校生平和大使 萩有彩さんからの報告



会場入り口近辺における、署名活動とカンパ活動に多くの方が協力してくれたことに高校生の皆さんも大変喜んでいました。ご協力いただいた皆さまに感謝申し上げます。

カンパ合計 294,131円、署名 287筆

\*報告内容について、退職者連合HP 会員専用ページの動画サービスに掲載していますので、ぜひご覧ください。

＜全国高齢者集会実行委員会の構成団体＞

- 日本退職者連合・連合・中央労福協・労金協会
こくみん共済coop・運輸労連(オブ参加)